

総代会

総代会の仕組み（総代会制度について）

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を大切にすることを基本とした協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代の選任について

総代の選任は、法令、定款及び総代選任規程に基づき行われます。

■総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
- ・総代の定数は110人で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。

なお、2022年6月17日現在の総代数は107人で、会員数は2022年3月31日現在32,462人です。

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

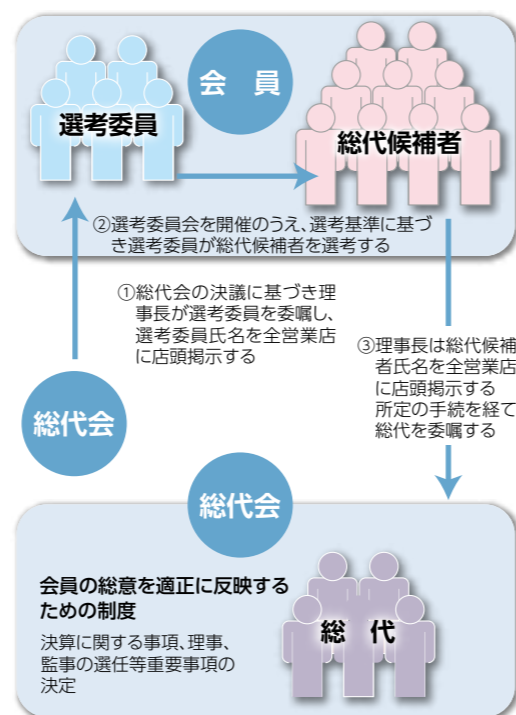
そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てする）。

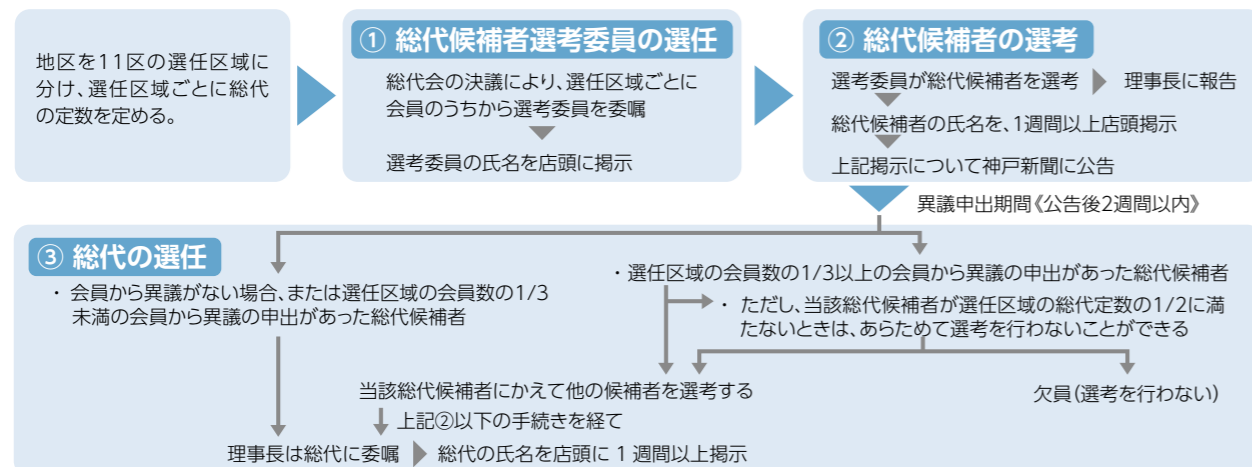
■総代候補者選考基準

- 資格要件**
- ①中兵庫信用金庫の会員であること。
 - ②満70歳を超えていないこと。

- 適格要件**
- ①総代として相応しい見識を有していること。
 - ②地域における信望が厚く、総代として相応しい人であること。
 - ③金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との緊密な取引関係を有する方。
 - ④人格・識見に優れ、当金庫の発展に寄与できる方。



総代が選任されるまでの手続きについて



総代会の決議事項の報告

●第53期通常総代会の決議事項

2022年6月17日、総代107名（内委任状による方79名）のご出席を頂き、三田本部2階大会議室で開催しました。

次の事項が付議され、それぞれ原案通り承認されました。

- 報告事項 第53期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
- 決議事項 第1号議案 剰余金処分案承認の件
 第2号議案 会員の除名に関する件
 第3号議案 理事および監事の任期満了に伴う選任の件
 第4号議案 退任理事および退任監事に対する退職慰労金贈呈の件



総代のみなさま

選任区域	人数	氏名
第1選任区域 丹波市氷上町	14人	足立 敬介③・石井 敏樹⑥・井上 雅仁⑤・植野 利雄①・太田喜一郎③ 大村 吉樹⑤・角田 健①・酒井 克明①・十倉 厚雄⑦・中川 貢④ 林 健二⑥・細谷 琢郎②・前川 廣明①・余田 亮一⑥
第2選任区域 丹波篠山市（旧篠山町）	11人	足立 義則⑥・圓増 亮介①・大見 春樹⑦・小嶋由貴子②・倉 雅史① 倉 守⑥・栗山 泰三⑥・小南 稔彦①・田野 治④・西村 猛① 山取 重之⑥
第3選任区域 丹波市柏原町	5人	磯野 多孝①・岡林 利幸③・岡林 伸樹①・田口 勝彦②・土田 博幸⑤
第4選任区域 丹波市山南町	7人	浅葉喜久男⑤・岡本 猛⑥・篠倉 庸良⑥・田中 秀樹⑤・前川謙一郎① 村上 英明②・森田 茂樹①
第5選任区域 丹波市春日町	7人	芦田 浩至②・石川みつる④・大槻 祥三①・細見 博美①・柳川 拓三⑥ 山本 雅春④・吉住 春代①
第6選任区域 丹波市青垣町	7人	芦田喜三郎⑤・足立 成人④・足立 喜信④・足立 頼彦⑧・飯田 正人⑥ 中川 重之⑦・山中 利樹④
第7選任区域 多可郡、西脇市黒田庄町	13人	足立 公夫④・梅田 雅広⑥・大山 剛史④・門上 益充①・木原 秀樹① 竹内 政彦②・東田 新吾①・藤岡 祐二①・藤本 博一⑥・村上 貢② 森脇 富成⑦・矢持 健③・吉山 茂幸③
第8選任区域 丹波市市島町、福知山市	8人	伊藤 仁昭①・井上 仁司①・岩澤 宏一⑥・實吉 齊②・新崎 昌博④ 殿谷 幸司①・山名 隆衛⑤・山本 龍之④
第9選任区域 丹波篠山市（旧今田・丹南・西紀町）	6人	大上 巧③・太治 正一⑥・藤森 欣昭⑤・降矢 寿民④・細見 聡① 細見 泰隆③
第10選任区域 西脇市（黒田庄町を除く）、加東市、小野市、加西市	10人	大畑 康洋②・岸本万里子①・久後 裕幸①・篠原 義裕④・戸田 善幸⑥ 藤本 義明④・藤原 篤①・松田 幸弘③・丸山 正洋③・依藤 修④
第11選任区域 三田市、神戸市、西宮市、宝塚市、三木市、川辺郡、芦屋市	19人	芦田 由雄④・今井 俊介①・今西 康之⑥・扇野 洋一④・大槻 榮人⑥ 大矢 和弘①・岡本 光治③・小西 豊祥②・古家 秀俊①・作田 良尚③ 塩見 孝①・柴田 茂徳③・末陰 和也①・中西 郁⑦・福元 正一① 藤田 譲②・堀井 隆博①・三村 広昭②・山本 一廣①

(注) 敬称略 50音順・氏名の後の数字は総代の就任回数 合計107人 2022年6月17日現在

<総代の属性別構成比>

職業別	法人・法人代表者 80.4%、個人事業主 13.1%、個人 6.5%
年代別	60代以上 88.8%、50代 11.2%
業種別	製造業 24.0%、建設業 20.0%、卸・小売業 23.0%、サービス業 20.0%、その他 13.0%

(注) 業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主について記載しております。